

古本回収で子ども支援

大垣西濃信金全店にボックス設置

大垣西濃信用金庫は30日、35の出張所を含む全店窓口ボックスを設置して、古本を集める取り組みを始めた。回収した本は現金化され、それを寄付し、貧困状態にある子どもたちの支援に役立ててもらう。

こども家庭庁などが進める「こどもの未来応援国民運動」の一環である「こどものみらい古本基金」の取り組み。全国の信用金庫や証券会社などで展開されている。回収した本は、書籍買い取り販売会社「バリューブックス」(長野県)が買い取り、買い取り額が基金に寄付される。

対象は10年以内に出版された本で、ISBN(バーコード)がない本や個人出版の本、コンビニコミック、漫画雑誌などは受け付けない。同金庫の担当者は「子どもの明るい未来をつくるために、協力してもらえたら」と呼びかけている。

(野田祐治)



出張所を含む全店に設置された古本回収ボックス＝大垣市恵比寿町、大垣西濃信用金庫本部